

令和5年度都立橘高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目において「文章を書く」学習活動を取り入れる。 ・定期的に漢字の小テストを行い、語彙力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文や要約、振り返りなど、様々な学習活動を取り入れることで、書くことに対する抵抗感をなくさせるとともに、書ける字数を徐々に増やしていくような指導を行っていく。
社会	多様な視点から、社会的事象を考察する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末の活用 ・資料の積極的な活用 ・対話的な授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた授業の展開 ・自分の考えを持ち、表現する場面の設定
数学	基礎学力の定着と向上	習熟度別授業により基礎計算力の向上を図る。長期休業中に成績不良者へのきめ細かい指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前に勉強会を開き、質問の時間を確保している。各考査終了後、振り返りを行う。問題解決に向けた自己評価を行い主体的に取り組む態度を身に付ける。
理科	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を扱い、生徒の興味・関心をひく授業を展開する ・ICTを活用し、視覚的・感覚的に理解させ、思考力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材に対して思考し、ICT機器を活用して表現・発表・議論する活動を展開する
外国語	基礎学力の定着と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別授業の特色を活かしたきめ細かい指導 ・テスト内容の精査、課題の内容・分量の検討、宿題の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューテスト、レシテーション発表を学年単位で実施 ・実用英語検定試験受験の推奨
保健体育	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の見通しをもち、各種目で系統的な指導を目指している。 ・重点種目として「水泳」「長距離走」を設定しており、総合的な体力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価の充実と生徒へのフィードバックの実施。
家庭	生活に活かすことのできる学びの充実	実習や作業を取り入れ、動きのある展開	他教科との関わりを意識した授業展開
ビジネス	学習を通じビジネスに必要な資質・能力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次産業を中心とした従来の商業教育でなく、産業という包括したビジネス教育の推進を進める ・本校の特色に鑑み、ものづくり・ビジネス・ITと連携し、産業人の育成という視点から考えた学習・授業を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科の動向を考慮しながら、実践的な教科指導を全体で行うよう取り組む ・上記の取り組みを行うことで販売実習やインターンシップの体験的な学習を通じ、具体的な課題の発見、解決方法を学習する
情報	効果的なコミュニケーション能力の育成を通して、情報社会を生き抜く力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響について最新の資料に基づく教材を準備する。 ・生徒の実態に応じて、適切なソフトウェア、開発環境、プログラミング言語などを選択した内容の精選を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用し、各生徒がリアルタイムにデジタルコンテンツにアクセスできる授業を展開する。 ・情報モラルの向上とプログラミング技能の習得のため、外部機関と連携して取組を行う。
ものづくり	各分野の基礎知識の定着と知識・技術の向上	各分野の課題、指導方法等の確認を行う。補習を行い、成績不良者への、きめ細かい指導を行う。	2年生の実習選択(ものづくり・伝統工芸)や3年生の授業選択等を含め、主体的に取り組む態度を身に付ける。